

会議録様式

審 議 会 名	令和5年度第2回杉戸町総合振興審議会
開 催 日 時	令和5年7月11日(火) 午後1時30分～午後3時40分
開 催 場 所	杉戸町役場第一庁舎3階会議室
会 議 の 議 題	<p>①第6次杉戸町総合振興計画第2次実施計画の 事務事業評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会インターネット配信事業 ・東武動物公園駅東口通り線整備事業 <p>②第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の 事務事業評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校誇れる学校づくり推進事業 ・子育て世帯移住・定住推進事業
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 (公開の場合傍聴者数 0人)
	(非公開の場合理由)
出席委員氏名	<p>【出席委員】</p> <p>木村三樹男、大橋登喜夫、板橋昇、鈴木豊、 金久保繁、坂本吉江、水野順子、菊地信一、新井晃、 宮脇俊幸、亀田明憲、石井康之</p> <p>【欠席委員】</p> <p>佐々木誠、宮野尾政子</p>
審 議 の 概 要	<p>①及び②について審議を行った。 詳細は別紙のとおり。</p>

【意見・質疑等】

(1) 第6次杉戸町総合振興計画 第2次実施計画 事務事業評価

① 議会映像インターネット配信事業

質問・意見①

(委員)

- ・この配信の内容というのは、公式の記録なのか、非公式なのか。
- ・この配信映像は配信するまでに不要な部分を削除するような修正というのはあるのか。
- ・適切でない発言や議案等から逸れた発言等については、修正するなどの配慮をしたほうがいいのではないか。

(事務局)

- ・インターネット配信については公式記録ではありません。
公式記録は杉戸町議会が作成する会議録でございます。
- ・配信映像につきましては、一部修正が入ることもございます。
- ・配信映像については、適切でない部分等について修正をすべきとのご意見があったことを、議会へ伝えます。

質問・意見②

(委員)

- ・私の近所の方々も映像配信があるのは良いという話をしている。継続して実施して行ってほしい。
- ・映像切替のスイッチャーだが、技術が必要なものか。操作等は簡単か。

(事務局)

- ・難しいものではありませんので、特に技術が必要なものでもありません。

質問・意見③

(委員)

- ・配信までの時間（期間）を縮めることはできないのか。
- ・映像に対するセキュリティはどうなっているか。

(事務局)

- ・初めてということで、録画映像を配信する形で、導入することを優先させていただいたところです。今後の議会において、時間の短縮やライブ配信について検討してまいります。
- ・議会のインターネット配信映像は、会議録センターへ業務委託をし、専用の映像サーバーを通して配信しているため、ダウンロードしたり、改ざんや加工をすることができないようになっております。

② 東武動物公園駅東口通り線整備事業

質問・意見①

(委員)

- ・ほこみち指定をすることを考えているのか。その場合、関係機関協議はどうなっているのか。

(事務局)

- ・町といたしましては、東口通り線において、ほこみち（歩行者利便増進道路）指定（道路管理者である埼玉県による指定）を検討しておりますが、歩行できる一定幅（歩行空間2 m以上）を確保しなければならないため、幅員構成上、難しい状況にあります。
そのため、道路法の特例など、別の方法についても埼玉県とともに模索しているところでございます。

質問・意見②

(委員)

- ・区画整理の減歩がネックとなり事業が進んでいないのか。
- ・杉戸町と宮代町は古利根川が境になっているが、費用負担の協議等を含めて情報交換ができているのか。
- ・マンホールカードを導入することを検討してほしい。

(事務局)

- ・個人施行型区画整理のため、権利者全員同意によって進めているため、減歩率が事業進捗に影響を及ぼしているということはありません。親族関係や移転の

問題など、それぞれのご事情によるものであり、それぞれの方に寄り添った事業スケジュールを立て、ご協力をいただけるところから契約をさせていただいておりますので、沿道整備街路事業は順調であると考えております。

- ・宮代町と協議や情報交換は当然行っております。東口通り線周辺エリア一体のまちづくり構想策定の際も宮代町に御参加いただいております。

また、道路のデザインなど統一が図れるよう、宮代町と協議を行い、県に対し提案を行い、設計デザインに反映することをご検討いただいております。併せて、その設計デザインは宮代町の駅前広場事業へも反映していただいている状況でございます。

- ・マンホールカードについては、発行している市町村が多くあることは存じ上げております。様々な視点での検討が必要となりますので、ご意見を頂戴したことを担当課へ伝えます。

質問・意見③

(委員)

- ・この事業に対して、何をもちて（視点をどこに置いて）、有効性・効率性・妥当性をみるのか。

(事務局)

- ・この事業は、歩行者、自転車、自動車の安全確保が目的であり、道路拡幅を早期完了させるための最初的手段が用地取得です。（有効性・効率性・妥当性）
- ・一部区間の工事を進めるなど、できることから進めています。（妥当性）
- ・実際工事をする上では、上下水道、ガス、電線など様々な事業者が絡んできます。県は占用者調整会議として、年に複数回、関係機関の担当者を集めて、綿密な調整・情報共有を実施しております。（妥当性）

(2) 第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価

① 小・中学校誇れる学校づくり推進事業 学力向上プロジェクトの推進

質問・意見①

(委員)

- ・地域の保護者からの評価は高い。継続して実施してほしい。
- ・やることが多すぎて、教職員の精神面や身体面が心配になるが、教職員の反応や健康面は大丈夫か。

(事務局)

- ・子ども一人ひとりの理解度等を把握できるため、授業改善に取り組みやすいという意見をうかがっております。また、この取り組み自体が負担であるという声は伺っておりません。

質問・意見②

(委員)

- ・中学生の学力について、周辺市町村との比較ができる指標はあるのか。
- ・杉戸町の現状は。

(事務局)

- ・全国学力学習状況調査と埼玉県独自で行っている埼玉県学力学習状況調査というものがあります。
- ・杉戸町は国語が 68.0、全国は 69.0、県は 70.0 という状況です。若干ではあるが、少しずつ差が縮まってきているところがございます。数学に関しましては、全国が 51.4、県が 52.0、杉戸町は 50.0 です。こちらも令和3年と比べると差

は大きく縮まってきております。

質問・意見③

(委員)

- ・杉戸町では授業力をあげることが重要だと思うため、学力向上のシステムができていないのではないかと考えている。
- ・今後、学力向上とICT化について、そこに特化して、杉戸町がしっかり目を向けて、実態把握をしながら、学力向上に努めていることは良いことであると考えている。

質問・意見④

(委員)

- ・教員のモチベーションを高めて、教員の力量を上げて、子どもたちの学力を上げていこうという方法だと感じていて、これが確かな方法だろうと感じた。

質問・意見⑤

(委員)

- ・この取組内容は、全国的にも実施しており、杉戸町だけの特色あるものではないと感じる。杉戸町へ新しい人の流れを作るという目的のためにどうしていくのか、町を魅力があるところ、魅力のある事業というものにしていかなくてはいけないと思う。これらの事業を実施していく中で、1つでも2つでも杉戸町にはこれがある！というような杉戸町独自のもの、特色あるものがあれば、新しい人の流れを作るという目的に少しでもつながっていくのではないかと感じている。
- ・ICTも含めて、ついていけない、取り残さしてしまう子どもたちへの対策に

ついて伺いたい。

(事務局)

- ・ 試行錯誤を重ねて取り組んでいる。休み時間中のサポートや教育支援員、学習指導員を配置し、なかなか学習に入っていない子どものサポートも行っているところでございます。みんなでしっかりと学びを身につけられるようにという視点で取り組んでいます。

また、学級経営というのも非常に重要であって、わからないことをわからないと言えるということが、一番大事なことです。これが学力を伸ばしていくためにも非常に重要であるため、それらについて教職員が学びを深めているところでございます。

質問・意見⑤

(委員)

- ・ 教育で重要なのは人と人との対話だと思う。子ども立場から考えると、先生や支援者は、年上で、高い位置にいる存在であり、話しかけにくいという印象であるため、先生方や支援者の方から子どもへの声掛けを引き続き行ってほしい。
- ・ 2点目は、中学生の進路先について教えていただきたい。

昔は公立高校を選択することが多かったが、近年では、ICT化によってタブレットやパソコンを利用するため、私立を選ぶという判断基準があるのか聞きたい。

(学校教育課)

お答えいたします。進路先につきましては、公立高校が多いと思います。しかし、

多様な目的を持った私立高校が増えてきておりますので、その目的に合わせた私立に進学されるお子さんも多いように感じます。タブレット端末の導入が公立私立の選択への影響を及ぼしているというような事実はございません。私立でも公立でも自分でタブレット端末や学校指定のタブレット端末を購入して、授業の中で活用しております。

(2) 第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価

② 子育て世帯移住・定住推進事業

質問・意見①

(委員)

- ・このような政策で子育て世帯が増加することは良い。引き続き進めてほしい。

質問・意見②

(委員)

- ・結婚支援助成金は町単独で5,000円を支援しているということか。
春日部市では交付金をもらって、同様の事業を行っているが。
助成金をもらえるように申請したほうが、町単独で行うよりいいのではないか。

(事務局)

その通りです。町は一般財源のみで実施しております。

この5,000円の町独自の補助制度に対して、国や県から交付金を申請することはできません。(補助メニューにありません。)

そもそも、県の「SAITAMA 出会いサポートセンター」への登録は、16,000円の登録料が必要ですが、この運営協議会に杉戸町が加盟して負担金をお支払いして

いることから、杉戸町民であれば、通常の5,000円引きの11,000円で登録できることとなっており、すでに割引対象となっていることから、県から補助を受けることはできません。

質問・意見③

(委員)

- ・補助などの事業は理解できるが、自治体が入って、結婚相談、支援ということをしないと今は恋愛ができないのか。昔と比べてしまい、理解が追い付かない。

(事務局)

できる人もいる、できない人もいる。昔も今もおそらく変わらないのではないかと考えております。

できない方もいらっしゃるということで、この結婚・出産・子育てという流れの中で一番大きな出会いから結婚に至るまでのプロセスのサポートをしなければ、人口減少対策にならないと考えております。

質問・意見④

(委員)

今は結婚しない方が生活が楽だという考え方が多いから、その考え方を改めてもらわなければ、いくらの出会いの場を作っても、そんなの意味がないという話になる。

(総合政策課)

おっしゃる通り、いろいろな状況の中で、いろいろな感じ方・考え方あり、価値観の多様化もあり、結婚しないという選択も、それはその人の考え方なので尊重し

なければいけない部分でもあります。自治体としては少子高齢化対策として、流出していく人口を抑えて、労働人口を増やしていくという中で、結婚出産を促していくという政策に力を入れることはできても、個人の人格に訴えるということはできないので、なかなか限界のある内容であることは重々認識しているところでございます。

質問・意見⑤

(委員)

- ・このような政策で子育て世帯が増加することは良い。引き続き進めてほしい。

(金久保委員)

杉戸町でどんなに支援をしても、これから働いて杉戸町に税金を納める年齢になると町外へ転居してしまうことや、逆に、高齢の方々から杉戸町は住みよい町だと選ばれても高齢化率が上がっていくだけとなってしまう。いかに若い世代の流入や定住を促進するのが重要である。

杉戸町はいかに流出を止めるかという話になっている。

(総合政策課)

お金をもらえるから杉戸に住むというのではなく、それ以外の町の魅力によって選んでいただけるようなまちにしていかなければならないと思っています。そのため、職員が知恵を絞り、努力していく必要があると考えております。

質問・意見⑥

(委員)

こいたまの登録者の男女比はどうなっているか。

(総合政策課)

男性のほうが多いです。